F/T13 [オープン・プログラム]
フェスティバル / トーキョー

池袋にひろがる祝祭空間

F/T13では、より多くの人とフェスティバルが出会う「F/Tオープン・プログラム」を新設!
文字通り“フェスティバルを開く”ために、立ち寄った誰もが気軽に、無料で、フェスティバルを体感できるプログラムを展開する。 地域の既存のネットワークやコミュニティ、池袋の街を訪れる人々、F/Tに参加するアーティスト、スタッフ、観客……全ての人とF/Tをつなぎ、フェスティバルをいっそう盛り上げる!

F/T13 オープニング・イベント

無料
参加型
演劇
ダンス
音楽
美術
トーク
屋台村

いとうせいこう×宮沢章夫、 椿昇、 F/T モブの参加アーティストたちが、 F/T13 の開幕を盛り上げる!

11月9日 (土)
12:00より
東京芸術劇場、池袋西口公園ほか

入場無料 (一部有料プログラムあり)
当日のタイムテーブルなどはF/Tウェブサイトにて後日発表。

© Takaki Sudo

© Tsukasa Aoki

F/T初の試みとなる、オープニング・イベントでは、F/T13の開幕を観客と共に盛り上げる企画を多数実施。F/T13のテーマ「物語を旅する」に応答するスペシャルプログラムとして、いとうせいこう×宮沢章夫によるリーディングライブや、椿昇による巨大オブジェのお披露目イベント、トークなどが行われるほか、シアタースタジオ・インドネシアの公演に合わせたアジア料理の屋台村も登場。 西口公園周辺がさまざまなイベントで彩られる。

いとうせいこう Seiko Ito ▶1961年、東京都生まれ。編集者を経て、作家、クリエーターとして、 活字・映像・音楽・舞台など、多方面で活躍。著書に小説『ノーライフキング』『見仏記』(みうらじゅんと共著) エッセイ集『ボタニカル・ライフ』(第15回講談社エッセイ賞受賞) など。今年16年ぶりの小説『想像ラジオ』を発表した。テレビでは「シルシルミシルさんデー」(テレビ朝日)「ビットワールド」(E テレ)「オトナの!」(TBS) などにレギュラー出演中。

F/Tモブ・スペシャル

無料
参加型
ダンス
音楽

フラッシュモブの手法を使った 一般参加型の群衆パフォーマンス。 今年は F/T の本拠地・池袋全域で展開!

11月9日（土）～ 12月8日（日）毎週末
池袋エリア
※詳細は決定次第、F/Tウェブサイトで発表
参加料：無料

※11月9日（土）のオープニング・イベントには、F/Tモブ参加アーティスト全員が集結します！

© Ryosuke Kikuchi

メールやSNSなどを通じて集まった不特定多数の人間が、駅、空港などの公共空間で突如として同じ行為を行い、散会するフラッシュモブ。「F/Tモブ・スペシャル」ではフラッシュモブの手法を用い、一般参加型の群衆パフォーマンスをF/Tの本拠地・池袋の複数箇所で展開する。

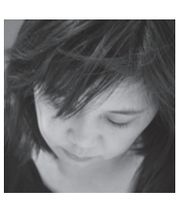
© HARU

近藤良平 Ryohei Kondo（コンドルズ） ▸ペルー、チリ、アルゼンチン育ち。振付家、ダンサー、コンドルズ主宰。第4回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞。NHK教育『からだであそぼ』で振付出演。他、宮崎あおい主演ミュージカル『星の王子さま』、三池崇史監督映画『カタクリ家の幸福』などの振付も担当。2007年、野田秀樹演出『THE BEE』で鮮烈役者デビュー。同作品は朝日舞台芸術賞グランプリなど主要演劇賞を制覇。横浜国立大学などで非常勤講師としてダンスの指導もしている。

三浦康嗣 Koshi Miura（□□□） ▸□□□（クチロロ）主宰。スカイツリー合唱団主宰。作詞、作曲、編曲、プロデュース、演奏、歌唱、プログラミング、エディット、音響エンジニアリング、舞台演出・・・等々を一人でこなし、多角的に創作に関わる総合作家。2010年第54回岸田國士戯曲賞受賞作『わが星』の音楽担当、音楽劇『ファンファーレ』の音楽、演出を担当。□□□最新作アルバムは13 年3 月に発売された『JAPANESE COUPLE』。

© Rhys TURNER

古家優里 Yuri Huruie（プロジェクト大山） ▸振付家、ダンサー。熊本県出身。熊本バレエ研究所で学び、熊本高校を経て、お茶の水女子大学文教育学部芸術表現行動学科・舞踊教育学コース卒業。大学の同級生と立ち上げたダンスグループ「 プロジェクト大山」主宰。2009 年横浜ダンスコレクションR にて「審査員賞」、10 年トヨタコレオグラフィアワードにて「次代を担う振付家賞」を受賞。



矢内原美邦 Mikuni Yanaihara（ニブロール） ▸振付家、演出家、劇作家、ニブロール主宰。日常的な身振りをベースに現代をドライに提示する独自の振付で国内外のフェスティバルなどに招聘されている。劇作・演出も手がけ2012年第56回岸田國士戯曲賞を受賞。off-Nibroll名義で美術作品も制作し、数々の展覧会に参加。プロダクションIG製作アニメーション『ホッタラケの島』で振付担当、ダンスと演劇、美術などの領域を行き交いながら作品制作を行う。日本ダンスフォーラム大賞、NHK賞、ラオコン（略）賞、横浜市文化芸術奨励賞受賞。近畿大学舞台芸術学科准教授。

椿昇『KEINE STIMME. ―声のない。inspired by EPILOG?』

無料
美術

現代美術家・椿昇による巨大オブジェが東京芸術劇場のアトリウム内に出現!

11月9日（土）～ 12月8日（日）
常時展示
※11月11日（月）、12日（火）休み
東京芸術劇場 アトリウム
入場無料

霧島アートの森2012年『RIGHT SHEEP』

京都造形大学2012年『グループワークショップ―京造ねぶた―』

都市におけるアートと社会の関係を問い直してきた現代美術家の椿昇が、F/T13のテーマに呼応し、ギリシャ悲劇やエルフリーデ・イェリネクの戯曲に想を得た巨大なバルーンオブジェを制作。東京芸術劇場アトリウムに浮かぶ本作は、空前のスケールで、フェスティバルを訪れるすべての人々に強い印象を与えるだろう。

椿 昇 Noboru Tsubaki ▸現代美術家。1953年、京都市生まれ。京都市立芸術大美術専攻科修了。1993年ベネチア・ビエンナーレ、2001年横浜トリエンナーレに出品。02年にイデビアン・クルー『くるみ割り人形』の舞台美術を担当。10年には六本木アートナイトメインアーティストをつとめ、瀬戸内国際芸術祭で2つのプロジェクトを製作。アートと社会の関係を問い直す衝撃的な作品やシステムを提案している。京都造形芸術大学教授／美術工芸学科長。

F/Tステーション

インフォメーション　ショップ
カフェ　チケット

舞台と観客、街とをつなぐ
――F/Tのフェスティバル・センター

11月9日（土）～ 12月8日（日）
12:00-20:00
※11月11日（月）、12（火）休み
インフォメーションブース
東京芸術劇場内
入場無料

誰もが自由に立ち寄り、語り合えるフェスティバル・センター「F/T ステーション」。今年も東京芸術劇場をベースに、さまざまな館内施設とも連携し、総合案内やチケット販売、イベント開催など、フェスティバルを訪れる人のさまざまなニーズに応えます。F/T参加アーティストや演目に関する最新情報も発信しながら、過去演目の映像、関連資料などのアーカイブ閲覧スペースもあり。

F/T13 [公募プログラム]
フェスティバル / トーキョー

アジアから世界へ。若い才能の飛躍の場を創出する

次世代を担う若手アーティスト、カンパニーの自主公演をサポートする「F/T公募プログラム」も今年で4回目の開催となる。F/T11からは対象をアジア全域に拡大、今年は137件の応募の中から、6つの国と地域から9団体（日本：4、中国：1、台湾：1、韓国：1、シンガポール：1、インド：1）が選出された。テーマも手法もそれぞれに異なる作品群からは、同時代表現の多様性はもちろん、アジア共通の課題や可能性も浮かび上がってくる。

本プログラムは、アジアにおいて作品、才能が集まる場としてだけでなく、その批評（評価）、流通が行われるプラットフォーム機能を有することを目指す。また、全作品を対象に、新しい価値を創造する作品を顕彰する「F/Tアワード」も引き続き開催。

	F/T10	F/T11	F/T12	F/T13
応募数	80 団体 ※国内のみ	150 団体 （国内 70 団体、海外 80 団体）	180 団体 （国内 94 団体、海外 86 団体）	137 団体 （国内 74 団体、海外 63 団体）
参加数	8 団体	11 団体	11 団体	9 団体
アワード受賞者	ー	**振子びじん**	**シアタースタジオ・インドネシア**	**12/8 に決定**

新しい価値を創造する「F/T アワード」

F/T13公募プログラムの参加作品を対象とし、受賞者には次年度の主催プログラムとしての創作・発表の権利を約束するF/Tアワード。創作拠点の異なる作品を1つの評価基準で審査することは、個々のアーティストの方法論、同時代の表現に対する意識をいっそう深めることにもつながる。今年は、中国、ドイツからの審査員も参加し、これまで以上に多角的な視点からの審査が期待される。

F/T アワード 審査員プロフィール

飴屋法水：演出家・美術家
1961年生まれ。状況劇場を経て、東京グランギニョル、M.M.M.を結成。90年代は美術家として活動するも、95年のベネチア・ビエンナーレ参加後は作家活動を停止。
2005年「バ　ング　ント」展で美術活動を、07年『転校生』（F/T09春で再演）の演出で演劇活動を再開。近年の活動に、国東半島アートプロジェクト2012への参加、13年『ブルーシート』の演出がある。F/Tには、09春・秋、10、11に参加。

鴻 英良：演劇批評家
1948年生まれ。専門はロシア芸術思想。ウォーカー・アート・センター・グローバル委員、国際演劇祭ラオコオン芸術監督、舞台芸術研究センター副所長を歴任。著書に『二十世紀劇場―歴史としての芸術と世界』、共著に『反響マシーン―リチャード・フォアマンの世界』ほか、訳書にカントール『芸術家よ、くたばれ!』、タルコフスキー『映像のポエジア』など多数。『シアターアーツ』第一期編集代表、『舞台芸術』（1 ～ 10号）編集委員。

シュテファニー・カープ：ドラマトゥルク
ベルリンで文学博士号を取得後、ドラマトゥルクとして、デュッセルドルフ劇場、バーゼル劇場などで活動。チューリヒ劇場のチーフ・ドラマトゥルク兼共同監督（2000 - 04年）、フォルクスビューネのチーフ・ドラマトゥルク（05 - 07年）、ウィーン芸術週間の演劇部門監督（04年7月 - 05年6月、07年8月 - 13年6月）を歴任。このほか、制作担当ドラマトゥルクとして、主にクリストフ・マルターラーとの仕事に従事。

森山直人：演劇批評家
1968年生まれ。京都造形芸術大学舞台芸術学科教授、同大学舞台芸術研究センター主任研究員、機関誌『舞台芸術』編集委員。KYOTO EXPERIMENT（京都国際舞台芸術祭）2013実行委員長。著書に『舞台芸術への招待』（共著、放送大学教育振興会）、主な論文に『沈黙劇とその対部ーあるフィクションの起源をめぐって』『〈ドキュメンタリー〉が切り開く〈舞台〉』など。

リー・イーナン：ドラマトゥルク
1972年北京生まれ。中央戯劇学院演劇学准教授。北京大学卒業後、コロンビア大学にて演劇学を学ぶ。2007年博士課程取得。06年以降、ミュンヘン大学、フランクフルト大学、中央戯劇学院（北京）で演劇とドラマトゥルギーの教鞭をとる。09年国際シンポジウム『北京におけるドラマトゥルギー』を企画。ドイツで習得したドラマトゥルギーのコンセプトや手法の普及に努める。ハンス＝ティース・レーマン『ポストドラマ演劇』を中国語翻訳。

F/T13［公募プログラム］
フェスティバル/トーキョー
公演データ

ダンシング・ガール

ダンス

ゴーヤル・スジャータ
振付：ゴーヤル・スジャータ［インド］

インド伝統舞踊と
現代のはざまで。
葛藤から見出された美

11月26日（火）～11月27日（水）
シアターグリーン BOX in BOX THEATER
一般前売：¥2,000（当日+500円）
自由席（整理番号付）／上演時間：40分（予定）

© Roger Casas

ゴーヤル・スジャータ
Sujata Goel

▸振付家、ダンサー。1979年アメリカ生まれ。インド古典舞踊・バラタナティアムとコンテンポラリーダンスを学ぶ。2001年にインドの芸術大学を卒業し、04年までチェンナイを拠点に活動する振付家パドミニ・チェターのもとで活躍。その後、ベルギーのブリュッセルでコンテンポラリーダンスを学んだ後、ヨーロッパを拠点に活動。10年から12年にかけて、インドの芸術財団から助成を受け『ダンシング・ガール』を創作した。

たのもしいむすめ

© Kentaro Minoura

音楽　演劇

柴田聡子
構成：柴田聡子［日本］

ギター抱えて。あふれ出す
「ことば」と「うた」の時間

11月26日（火）～11月27日（水）
アサヒ・アートスクエア
一般前売：¥2,500 ／自由席（整理番号付）上演時間：60分（予定）
日本語上演、英語解説つき

© Ichiko Uemoto

柴田聡子
Satoko Shibata

▸歌手。1986年札幌市生まれ。2010年より都内を中心にライブ活動を始める。11年、夏と冬に2枚のデモCDを発表。東京芸術大学大学院映像研究科2011年度修了制作展「MediaPractice11-12」のテーマソングにボーカルで参加。12年6月、ファーストアルバム「しばたさとこ島」を浅草橋天才算数塾より発表。同年11月には同アルバムの10インチ・アナログレコードをなりすレコードより発売。

HELLO HELL!!!

© Kiyoe Akechi

演劇

劇団子供鉅人（きょじん）
作・演出：益山貴司［日本］

関西演劇界の風雲児が贈る、
渾身の社会派ミュージカル！

11月28日（木）～12月2日（月）
シアターグリーン BIG TREE THEATER
一般前売：¥3,500（当日+300円）
自由席／上演時間：120分（予定）

益山貴司
Takashi Masuyama

▸劇団子供鉅人主宰、劇作家、演出家、役者。1982年大阪生まれ。幼稚園の学芸会における「馬に乗る人」役で演劇デビュー。高校のクラブ活動から演劇活動を開始し、2005 年に劇団子供鉅人を結成、全作品の作・演出を手がける。12年に、劇団子供鉅人としてフランス・リール地方の現代美術展lille3000に参加。個人では、野田秀樹率いるNODA・MAPやラジオドラマへの出演、短編小説の連載など、多方面で活躍している。

いのちのちQⅡ

© Satoko Ishihara

演劇

Q
作・演出：市原佐都子［日本］

かわいくって生々しい。
新世代の女子が見た飼育、血統

11月29日（金）～12月1日（日）
アサヒ・アートスクエア
一般前売：¥2,500（当日+500円）ほか
自由席／上演時間：90分（予定）
日本語上演、英語字幕つき

市原佐都子
Satoko Ichihara

▸劇作家、演出家。1988年生まれ、福岡県北九州市出身。桜美林大学在学中、自身初となる作・演出作品『虫虫Q』を卒業研究として発表。卒業後、Qを始める。2011年、戯曲『虫』で第11回AAF戯曲賞優秀賞受賞。13年にTPAM2013ショーケース参加作品として『いのちのちQ』を上演。また、Crackersboat主催のflat plat fesdesu Vol.2に『最新の私は最強の私』で参加。

真夏の奇譚集

© Shinehouse Theatre

演劇

シャインハウス・シアター
作・演出：ジョン・ボーユエン［台湾］
台湾のマルチクリエイター×
ジャパニーズ・ホラーの邂逅

11月29日（金）～12月1日（日）
シアターグリーン BASE THEATER
一般前売：¥2,000（当日+500円）
自由席（整理番号付）／上演時間：60分（予定）
中国語上演、日本語字幕つき

© Shinehouse Theatre

ジョン・ボーユエン
Poyuan Chung

▸劇作家、演出家。1985年台湾生まれ。国立台北芸術大学で演出を学ぶ。2006年にシャインハウス・シアターを旗揚げし、現在までに20以上のオリジナル作品を創作している。11年に『真夏の奇譚集』が台新芸術賞にノミネート。創作活動だけでなく、大学で演劇の講師をするなど、台湾の芸術教育にも貢献。演劇作品のほか、アニメ作品の脚本も手がける。また、俳優として、広告、テレビ、映画などでも活躍している。

地の神は不完全に現わる

© Sanghoon Ok

ダンス

ソ・ヨンラン
構成・振付：ソ・ヨンラン［韓国］
多角的な視点、手法で舞踊と
音楽の始原に触れる多元芸術

11月30日（土）～12月1日（日）
シアターグリーン BOX in BOX THEATER
一般前売：¥2,000（当日+500円）
自由席（整理番号付）／上演時間：60分（予定）
韓国語上演、日本語字幕つき

© Jirock Lee

ソ・ヨンラン
Yeongram Suh

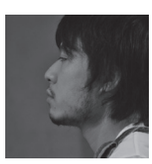
▸振付家、パフォーマー。多元芸術アーティスト。梨花女子大学校で舞踊を専攻。韓国芸術総合学校の舞踊科修士課程を卒業し、2008年より個人での創作活動をはじめる。モンゴルやオーストリアなど、国内外でレジデンシープログラムに参加。子供向けのワークショップも積極的に行っている。12年には『I confess my faith』、13年には『地の神は不完全に現わる』で韓国のフェスティバル・ボムに参加。

野良猫の首輪

演劇

sons wo:
作・演出：カゲヤマ気象台［日本］
身体と言葉の断裂、反射に
見出される「冒険物語」のカタチ

12月4日（水）～12月7日（土）
シアターグリーン BOX in BOX THEATER
一般前売：¥2,500（当日+300円）ほか
自由席／上演時間：80分（予定）
日本語上演、英語字幕つき



カゲヤマ気象台
Kishodai Kageyama

▸劇作家、演出家、sons wo:主宰。1988年静岡県生まれ。早稲田大学第一文学部卒。2008年にsons wo:を設立、主に脚本、演出、音響デザインを手がける。発話や身体から連続性を排除した「機械仕掛けのシアター」を構築しながら、そこで起こる現象にあくまでも独りで対峙できるような「開かれた自己内省のための場」としての演劇空間を追求している。TOLTA、サンズイなど、現代詩ユニットの活動にも参加。13年に芸創CONNECT Vol.6最優秀賞受賞。

クラウド

© Tara Tan

演劇　美術

タン・タラ
構成・演出：タン・タラ［シンガポール］
人と都市、記憶をめぐる
デジタル・ビジュアルシアター

12月5日（木）～12月7日（土）
シアターグリーン BASE THEATER
一般前売：¥2,000（当日+500円）
自由席（整理番号付）／上演時間：60分（予定）
中国語・日本語上演、日本語字幕つき

© Tara Tan

タン・タラ
Tara Tan

▸インタラクションデザイナー。2007年より創作活動を開始。ブリストル大学で演劇を学び、現在はハーバード大学大学院でデザインとテクノロジーを研究中。多様なメディアを用い、芸術とテクノロジー、身体とデジタルメディアを横断する作品を創作している。10年に短編映像作品が上海万博のほか、シンガポールやロンドン、オーストラリアなどで上映。12年には『Songbird』がシンガポールアーツフェスティバルで上演された。

地雷戦 2.0

演劇

薪伝（しんでん）実験劇団
作・演出：ワン・チョン［中国］
ネタは60年代の啓蒙（プロパガンダ）映画。
中国実験演劇の進化形

12月5日（木）～12月7日（土）
シアターグリーン BIG TREE THEATER
一般前売：¥2,000（当日+¥500）
自由席（整理番号付）／上演時間：75分（予定）
中国語上演、日本語字幕つき

© Zhou Jing

ワン・チョン
Chong Wang

▸劇作家、演出家、薪伝実験劇団主宰。1982年北京生まれ。北京大学で経済と法律を学び、ハワイ大学で演劇を研究し修士号を取得。2008年北京にて薪伝実験劇団を設立。マルチメディアパフォーマンスやドキュメンタリー演劇を創作、中国の実験演劇界を牽引している。アジア各地やヨーロッパで公演を行うなど、国外でも精力的に活動。12年には利賀村で開催されたアジア演出家フェスティバルにも参加。戯曲や書籍、劇評の翻訳なども行っている。

F/T13 フェスティバル/トーキョー

連携プログラム

F/Tと同時期に都内で開催される多様な作品群を世界に紹介します。

NODA・MAP 第18回公演
『MIWA』
演劇 世界初演

NODA・MAP
作・演出：野田秀樹［日本］
10月4日（金）～11月24日（日）
東京芸術劇場 プレイハウス

『ピュディック・アシッド』／『エクスタシス』
ダンス 日本初演

振付：マチルド・モニエ&ジャン＝フランソワ・デュルール［フランス］
11月9日（土）
彩の国さいたま芸術劇場　大ホール

『無頼漢（ならずもの）』
演劇 世界初演

テラヤマプロジェクト
原作：寺山修司、脚本：中津留章仁、音楽：上妻宏光、演出：流山児祥［日本］
11月21日（木）～12月1日（日）
豊島公会堂（みらい座いけぶくろ）

『もう風も吹かない』
演劇

青年団
作・演出：平田オリザ［日本］
11月7日（木）～11月18日（月）
吉祥寺シアター

『クリプトグラム』
演劇 日本初演

作：デイヴィッド・マメット［アメリカ］
翻訳・演出：小川絵梨子［日本］
11月6日（水）～11月24日（日）
シアタートラム

日本・中国・韓国　国際共同制作作品
『祝／言』
演劇

作・演出：長谷川孝治［日本］
11月29日（金）～ 12月1日（日）
新国立劇場 小劇場

F/T13 フェスティバル/トーキョー

チケット情報

10月5日（土）10:00より一般前売開始!!
9月28日（土）よりF/Tチケットセンターにて先行発売開始

F/Tならではのお得なチケットや今年から新設されたお得なパスも多数！

◎3演目セット割
主催＋公募プログラム（国内・海外）からお好きな3演目を選び、お得に観劇できるチケット。 **¥9,900**

◎海外演目スペシャルパス〈新設・限定数販売〉
海外作品7作品＋公募プログラム（海外）の全12演目を観劇できるお得なパス。 **¥15,000**

◎学生パス〈新設・限定数販売〉
主催＋公募プログラム（海外）からお好きな作品をいくつでも観劇できる学生用パス。 **¥10,000**

◎F/Tパス
主催＋公募プログラム（海外）すべてを楽しみたい方のためのお得なパス。 **￥32,000**

◎ペアチケット
チケット2枚分の料金から**10% OFF**

◎学生チケット、U18チケット
学生の方、18歳以下のためのお得なチケット。

※一部対象外演目あり

■チケット取扱
○F/Tチケットセンター
電話：**03-5961-5209**
受付時間：**12:00-19:00**

※会期中無休、
10/5から11/8までは水・日定休。
（10/5（土）のみ10:00より受付）
オンライン予約
http://festival-tokyo.jp
（24時間利用可能）

詳細は
F/Tウェブサイトで発表いたします！

F/T13
フェスティバル/トーキョー
実行委員会、事務局クレジット

フェスティバル / トーキョー組織委員

天児牛大	振付家、演出家
荻田伍	アサヒグループホールディングス株式会社 代表取締役会長 兼 CEO
扇田昭彦	演劇評論家
永井多恵子	公益社団法人国際演劇協会（ITI/UNESCO）日本センター会長
蜷川幸雄	演出家
野田秀樹	演出家
野村萬	狂言師
福原義春	株式会社資生堂 名誉会長

（五十音順）

フェスティバル / トーキョー実行委員会

名誉実行委員長	高野之夫	豊島区長
実行委員長	市村作知雄	NPO法人アートネットワーク・ジャパン 会長
副委員長	吉末昌弘	豊島区文化商工部長
委員	八巻規子	豊島区文化商工部文化デザイン課長
	大沼映雄	公益財団法人としま未来文化財団 常務理事／事務局長
	岸正人	公益財団法人としま未来文化財団 部長
	蓮池奈緒子	NPO法人アートネットワーク・ジャパン 理事長
	相馬千秋	NPO法人アートネットワーク・ジャパン プログラム・ディレクター
監事	天貝勝己	豊島区総務部総務課長
法務アドバイザー	福井建策、北澤尚登（骨董通り法律事務所）	

フェスティバル / トーキョー実行委員会事務局

プログラム・ディレクター	相馬千秋
事務局長	蓮池奈緒子
事務局次長	小島寛大
制作統括	武田知也
制作	河合千佳、喜友名織江、小森あや、椙山由香、高橋マミ、戸田史子
公募プログラムコーディネート	小山ひとみ
メディア戦略・広報	松本花音
メディア戦略・広報アシスタント	北沢聡子、田村かのこ
オープン・プログラム	藤井さゆり
オープン・プログラムアシスタント	田野入涼子、後藤天
票券	長原理江
票券アシスタント	菅原渚、尹禎敏
チケットセンター	佐々木由美子、佐藤久美子
総務	葦原円花、一色壽好
経理	堤久美子、青木亮子

技術監督	寅川英司
技術監督アシスタント	河野千鶴
照明コーディネート	佐々木真喜子（株式会社ファクター）
音響コーディネート	相川晶（有限会社サウンドウィーズ）

アートディレクション+デザイン	アジール（佐藤直樹＋中澤耕平＋谷陽子＋徳永明子＋菊地昌隆）
ウェブサイト	濱田真一＋北島識子＋佐藤祐花＋重松佑（株式会社ロフトワーク）
パブリシティ	平昌子、望月章宏
海外広報・翻訳	アンドリューズ・ウィリアム
物販	渡辺淳
編集・執筆	鈴木理映子

広報用写真

広報用の舞台写真（新作上演の場合は過去作）をご用意しております。
ご使用希望の媒体は、1 希望演目（画像）のタイトル、2 媒体名、3 掲載予定時期を表記の上、press@festival-tokyo.jp 担当：松本、平、望月までメールにてご連絡ください。

※ご使用時の注意点とお願い
・ご利用になる場合は、写真家のクレジットを必ず併記してください。
・トリミングおよび加工は原則不可です。

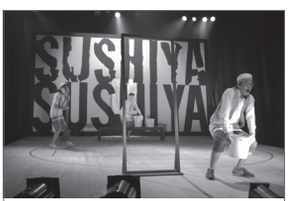
※公募プログラム、オープン・プログラムの各演目についても広報用写真のご用意がございます。

『バラバラな生体のバイオレーション！ ～エマージェンシー』(F/T12公募プログラム)
© Tsukasa Aoki

『オーバードーズ：サイコ・カタストロフィー』
シアタースタジオ・インドネシア

© Kazue Kawase

『四谷雑談集』＋『四家の怪談』
中野成樹、長島 確



京都×横浜プロジェクト2012
『義経千本桜』より「鮓屋」の場面
2012年7月京都芸術劇場 春秋座
© Toshihiro Shimizu

『東海道四谷怪談―通し上演―』
木ノ下歌舞伎

© Masahiro Hasunuma

『東京ヘテロトピア』
Port B

『女王の器』© Tsukasa Aoki

『永い遠足』
サンプル

『雲に乗って』
作・演出：ラビア・ムルエ

『ピクセル化された革命』
作・演出：ラビア・ムルエ

© Rabih Mroué

『33rpmと数秒間』
作・演出：リナ・サーネー、ラビア・ムルエ

© Tsukasa Aoki

『現在地』
チェルフィッチュ

遊園地再生事業団
『ジャパニーズ・スリーピング／世界でいちばん眠い場所』
© Nobuhiko Hikiji

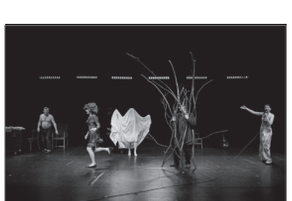
『光のない。（プロローグ?）』
演出：宮沢章夫

『帰ってきた Dr.N』© The Japan Foundation/
Photo: Keizo Kioku

『光のない。（プロローグ?）』
演出・美術：小沢 剛

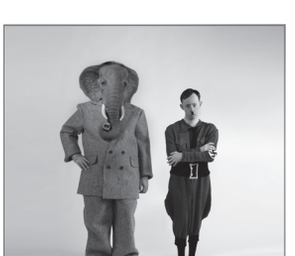
© Sandra Then

『100% トーキョー』
リミニ・プロトコル



© Hugo Glendinning

『The Coming Storm ―嵐が来た』
フォースド・エンタテインメント



© JEFF BUSBY

『ガネーシャ VS. 第三帝国』
バック・トゥ・バック・シアター

© Yuya Tsukahara

『石のような水』
作：松田正隆
演出・美術：松本雄吉